

『企業力向上の場としてのマッチングフェア・商談会の活用促進研究会』

第2回 研究会 議事次第

日時：平成23年9月27日（火）14:30-17:00

場所：中央合同庁舎4号館 1221会議室

1. 開会挨拶
2. 本日の研究会の内容について（農林水産省 F C P事務局）
3. 「展示会・商談会シート作成の手引き」に関する意見交換

【休憩】

4. 展示会・商談会シート活用状況の確認
5. 展示会・商談会シート記載事例の作成に関する経過報告
6. 閉会挨拶
7. 事務局連絡

配布資料

- 資料1 参加者名簿
- 資料2 平成23年度 第2回「企業力向上の場としてのマッチング・商談会」の活用に関する研究会
- 資料3 「F C P展示会・商談会シート」記載事例
- 資料4 「展示会・商談会シート作成の手引き」案
- 資料5 平成23年度 展示会・商談会シート活用状況
- 資料6 「F C P展示会・商談会シート」

平成23年9月27日（火）14:30～17:00
農林水産省4号館会議室1221号

第2回企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用促進研究会参加者名簿

【参加者名簿】 * 敬称略 企業団体 アイウエオ順

1	株式会社アール・ピー・アイ
2	伊藤ハム 株式会社
3	エグジビジョンテクノロジーズ 株式会社
4	株式会社 京王百貨店
5	株式会社 JTB西日本
6	信金中央金庫
7	株式会社 高島屋
8	株式会社 千葉銀行
9	株式会社 東急ストア
10	栃木県
11	社団法人 日本能率協会
12	三菱食品 株式会社
13	株式会社 三越伊勢丹
14	山梨県
15	リッキービジネスソリューション 株式会社

【オブザーバー】

1	株式会社 循環社会研究所
---	--------------

平成23年度 第2回 FCP
「企業力向上の場としてのマッチング・商談会」
の活用に関する研究会

平成23年9月27日

農林水産省

食料産業局 企画課 食品企業行動室

平成23年度の研究内容について

研究会の目的

- フードコミュニケーションプロジェクト(以下、FCPとする。)の基本的な考え方に基づき、今年度はさらに、「FCP展示会・商談会シート」(以下、商談会シートとする。)を食品業界に広く普及させることを目的とします。
- 併せて、「協働の着眼点」を活用した食品事業者の取組事例に関する情報を広くご提供いただき、意見交換を行うとともに、「協働の着眼点」をより良いものに見直すための情報の提供、改善に向けた提案していただきます。

研究内容について

- ① 商談会シート記載事例の作成
「商談会シートを活用しようとする事業者が参考となるような事例の作成」
- ② マニュアル冊子製作に向けての原案作り
「中小企業向けに、商談会シートの作成意欲を持たせることを目的としたマニュアルの作成」
- ③ バイヤーへの普及のためのチラシ作成に向けた意見交換
「まだ商談会シートを認知していないバイヤーに対し、その存在と、その有効性を知ってもらうことを目的としたチラシの作成」

株式会社アールピーアイ
イオンリテール株式会社
一神商事株式会社
伊藤ハム株式会社
株式会社イトーヨーカ堂
岩手県
エグジビジョンテクノロジーズ株式会社
大分県
株式会社京王百貨店
株式会社JTB西日本
信金中央金庫
株式会社 生活品質科学研究所
株式会社千葉銀行
株式会社東急ストア
株式会社高島屋
栃木県
社団法人日本能率協会
株式会社三越伊勢丹
三菱食品株式会社
リッキービジネスソリューション株式会社
和歌山県
山梨県



計 22 企業/団体 (敬称略)

23年度活動報告 第1回研究会の活動内容①

議題① 「商談会シート記載事例」作成のための意見交換



議題①では、今後商談会シートの作成者が参考にできるような事例集を作成することを目的として、事前に数社から今回の意見交換用に推薦していただいた16枚の「商談会シート」のサンプルを、それぞれ4枚ずつ4つのグループに配布し、その記載内容について意見交換を行った。

各グループにおける意見交換の結果、様々な観点からの改善意見等があったが、以下の意見が、各グループ共通のものとして整理された。

□商品写真の見せ方（撮り方）は、商談会シートの出来を左右するものであり極めて重要。

□フォントの大きさが重要。小さい文字は読めない、読まない。
・利用シーン、ターゲット、メッセージの欄はこのシートの最重要項目であるため、ここがきちんと記入されていないといけない。

□一般に流通されている品目の場合、自社商品の差別化の一文が入っていることが重要。

これらの共通意見を、各サンプルに対する個々の意見に加えて、左図の様なシートにまとめ、推薦していただいた各企業を通じて、一度作成者に返信。再度、加筆・修正していただいたものを、作成事例としてFCPのホームに掲載し、今後の商談会シートの作成者の参考となるようにする予定。



23年度活動報告 第1回研究会の活動内容② - (1)

議題②マニュアル冊子製作に向けての原案作り

議題②では、「商談会シート」の作成者のためのマニュアル冊子を作成するにあたり、そのあるべき姿や、必要項目、具体的内容についての意見交換を行った。その結果、出された主な意見は以下のとおり。

1, マニュアルのあるべき姿について。

- ・中小・零細企業の方をターゲットとして、彼らが使用することを想定すべき。
- ・シンプルでわかりやすいものとすべき。
- ・何故このシートを書く必要があるかの明示すべき。
- ・明るい未来やゴールにはどんなものがあるかを示すべき。
- ・フローチャート的なものがあると良い。

2, マニュアルの必要項目と具体的内容。

- ・「商談会シート」の30項目の解説。
- ・写真の載せ方。
- ・バイヤーの知りたいポイント。
- ・不十分な事例の掲載 ・業種・分類ごとの事例集
- ・成功事例集。

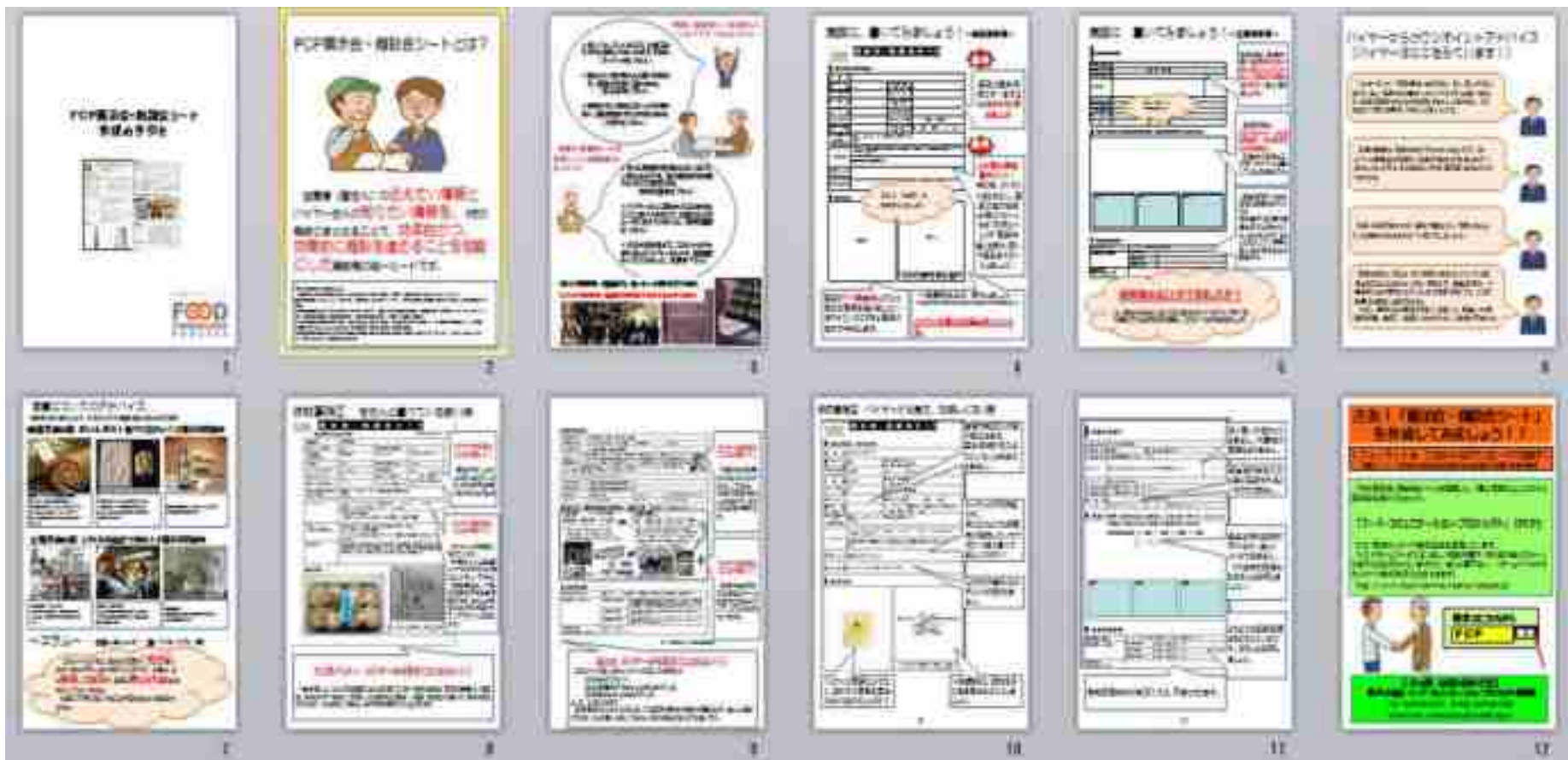


23年度活動報告 第1回研究会の活動内容②-(2)

これらの意見を基に、マニュアル冊子の原案を作成し、第2回研究会において、その原案の内容などについて、研究会参加メンバーから意見をいただき、マニュアル冊子として完成する予定。

マニュアル冊子原案サンプル

見開き12枚ページで調整中



23年度活動報告 第1回研究会の活動内容③

議題③バイヤーへの普及のためのチラシ作成に向けた意見交換

バイヤーへの普及促進のため、今年度は新たにバイヤー向けのビラを作成することとし、事務局作成の原案を基に研究会メンバー意見交換を行った。

意見交換の結果を踏まえて修正したビラを、今後、研究会に参加された企業内への普及や新規参加企業への訪問、仕入れ担当が多く集まる場所などで配布し、認知拡大に努めていくこととしている。

【バイヤー普及活動の為のビラ完成版】

バイヤーの皆様！農水省FCPが推奨する『展示会・商談会シート』はもうご存知ですか？

●新設計・新レイアウトとは？

出展者の「効率的な資料（見本）」と購入者の「効率的な情報」を両立させる新フォーマット。特に、様々な商談会場において、多くの買手さんが、このシートを所持し、活用しています。

参考事例

知りたい情報がひと目でわかる、これがあれば効率的に商談ができますね

ぜひ商談会場にて、この「シート」をチェックしてください！

広がっています！『FCP展示会・商談会シート』

展示会・商談会での活用が広がっており、多くの買手さんが、このシートを所持し、活用しています。

☆☆利用者アンケートでも高い評価☆☆

項目	評価	割合
資料がわかりやすい	◎	90%
商品がわかりやすい	◎	90%
商品が豊富	◎	90%
商品が新鮮	◎	90%
商品が面白い	◎	90%
商品が面白い	◎	90%

お問い合わせ先

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
農水省FCP事務局
TEL: 03-3508-5000 FAX: 03-3508-5001
E-mail: fcp@affrc.maff.go.jp
http://fcp.affrc.maff.go.jp

本日の研究会について

①「展示会・商談会シート作成の手引き」に関する意見交換

第一回研究会にてシート作成する事業者が作成する意欲を持っていただくためのマニュアルについてどうあるべきか議論を行いました。頂いた意見をもとに作成したマニュアル冊子について意見交換を行います。頂いた意見をもとに修正を行い、10月上旬より実際に活用するよう進めていく予定です。

②「展示会・商談会シート」活用状況の確認

FCP事務局にいただきました情報をもとに平成23年度のシートの活用状況を纏めました。シートの活用状況を確認し、共有することで更なる普及を目指します。活用状況についてご報告いただきたくと共に成功事例などの情報についてもご報告をお願い致します。

③「展示会・商談会シート」記載事例の作成に関する経過報告

第一回研究会にて研究会参加事業者様よりご紹介いただきましたシートについてアドバイスをいたしました。作成事業者の参考となるようFCPホームページで公開を進めていく予定です。その後の進捗についてご報告いただきます。

研究会の参加者にお守りいただきたい事項 (検討作業におけるルール)

- ステークホルダー間でのW I N – W I Nの関係づくりを重視すること

- 建設的・効果的な意見交換に貢献すること
(批判に終始せず、対案を提示するように努めること)

- 個別の組織や団体に対する、誹謗・中傷は行わないこと
(研究会においては、事業者間の利害調整等はいりません)

平成23年度 研究会のスケジュール（イメージ）

○農林水産省主催 FCP企業力向上の場としてのマッチング・商談会に関する研究会【回数】全3回開催(予定)、【目的】FCP商談会シートの活用拡大と検証

「マッチング」メーリングリストで随時情報共有

普及

バイヤーへの普及

バイヤー普及の為に
のピラ

マニュアルの
素案

作成事例集の
収集

作成者による、
加筆・修正

9月中間報告会

第2回研究会 9月27日

マニュアルの
完成

掲載

ホームページ

活用

活用

商談会

結果

第3回研究会 1月

結果

3月成果報告会

23年度事業者説明会

地域ブランチ

* 商談会型地域ブランチ例、回数は各ブランチにより異なる

平成23年度 今後の研究会の進め方

○研究会：年間3回、全体報告会2回実施を予定しています。内容は、下記の通り予定しています。

・【第1回 研究会】：6月10(金)、合同庁舎4号館にて開催しました。

- ・グループワーク方式による優良事例の選出。
- ・マニュアル冊子製作に向けての原案作り。
- ・バイヤーへ普及のためのチラシ作成に向けた意見交換。

終了

・【第2回 研究会】：9月27日(火)実施予定

- ・(地域ランチでの活用を含む)「商談会シート」の使用状況報告。
- ・マニュアル冊子製作に向けての意見交換⇒「マニュアルの完成」

本日

商談会参加者への「マニュアル」の活用 ・地域ランチでの運用

いざ、
商談会
へ

・【第3回 研究会】：1月下旬実施予定(後日ご案内)

- ・商談会での状況報告。
- ・次年度に向けた課題に関する意見交換。

・【成果報告会】：東京大学にて3月実施予定(後日ご案内)

平成23年度 「FCP展示会・商談会シート」活用状況

資料5

	研究会メンバー	商談会等名称	会場	日程	出展社数/来場者数	シートの活	活用の仕方	その他
1	リッキービジネスソリューション(株)	食の魅力発見プロジェクト2011(第二地銀24行)	TRC東京流通センター	7月6日	77社/520人	必須	Web入力、事業者が当日使用。	
2	山梨県	やまなし食のマッチングフェア2011(山梨中央銀行主催イベント)	アイメッセ山梨	7月6日	77社/1,100人	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
3	千葉銀行	セブネットショッピング説明会・商談会	千葉商工会議所	7月21日	53社	推奨		項目変更なし。
4	千葉銀行	ちばぎんアグリ商談会	千葉銀行本店3階大ホール	7月29日	約40社/200人	推奨		項目変更なし。
5	エグジビジョン テクノジーズ(株)	アグリフードEXPO東京2011	東京ビッグサイト	8/2、3	約564社/約12,000人	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
6	エグジビジョン テクノジーズ(株)	ふるさと商品おとりよせ展示商談会	東京国際フォーラム	8/26、27	来場者5,600人	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
7		テーマ設定型商談会(愛媛県)	メルパルク松山	9月2日	14社	推奨	商談に使用	項目変更なし。
8	栃木県	とちぎのいいものステーション2011	JR池袋駅外ロホリタンプラザビル	H23.10.18~19	25社/50000人	推奨		項目変更なし。
9	千葉銀行リッキービジネスソリューション(株)	地方銀行Food Selection 2011(地銀35行)	東京ビッグサイト	2011/11/1、2	約630社/12,000人	必須	Web入力、事業者が当日使用。	
10	(株)JTB西日本	全国キャラバン！食の発掘商談会	全国5箇所(大阪・札幌・福岡・仙台・東京)	11/10~2/23(随時開催)	約500社/1000社	必須	Web入力、事業者が当日使用。	項目変更なし。(項目は変更ないがB面が先)
11	信金中央金庫	静岡県東部・十勝帯広ビジネスマッチング『食&農』にだわりの逸品展示会2011(主催:三島信用金庫)	沼津卸商社センター展示場	11月10日	約70社/?(未開催のため)	推奨(個別商談会は必須)	事業者がブースにて配布(個別商談会は、必須)	項目変更なし。
12	信金中央金庫	富士山麓・駿河湾 フード商談会 in おた(主催:沼津信用金庫)	大田区産業プラザPIO	11月17日	約100社	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
13		フードメッセ IN にいがた	新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」	11/17~19	140社/4400人	推奨	Web入力	項目変更なし。
14	リッキービジネスソリューション(株)	津軽海峡食景色 青森・函館商談会 in KIHACHI	KIHACHI銀座本店	11月25日	20社/50人	推奨		項目変更なし。
15	栃木県	とちぎ食と農の展示・商談会2012	栃木県立宇都宮産業展示館(マロニエプラザ)	H24.1.19	約150社/1,500人	推奨		項目変更なし。
16	和歌山県	わかやま産品商談会IN大阪	OMMビル	2月9日	78社/318名	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。FCPブースを予定。
17	エグジビジョン テクノジーズ(株)	アグリフードEXPO大阪2011	アジア太平洋トレードセンター	2/14、15	約300社/約11,000人	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
18	エグジビジョン テクノジーズ(株)	JAグループ国産農畜産物商談会「食と農のかけ橋」	東京国際フォーラム	3/6、7	来場者4,000人	推奨	事業者がブースにて配布	項目変更なし。
19	(社)日本能率協会	FOODEX JAPAN 2012	幕張メッセ	3/6~3/9	約2,400社/75,000人	必須	Web入力、事業者に当日配布を推奨。	項目変更なし。「商談会シートあります」シール
20	栃木県	栃木のいいもの販売推進	首都圏	通年	40社/220商品	推奨		項目変更なし。

F C P 展 示 会 ・ 商 談 会 シ ー ト

資料 6

商品特性と取引条件

商 品 名			
最もおいしい時期		賞味期限／消費期限	
主原料産地(漁獲場所等)		J A N コード	
内 容 量		希望小売価格(税込)	
1 ケースあたり入数		保 存 温 度 帯	
発注リードタイム		販売エリアの制限	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
最低ケース納品単位		ケースサイズ(重量)	縦 ×横 ×高さ (kg)
認証・認定機関の 許認可(商品・工場等)	有機 JAS HACCP ISO 農業生産工程管理(GAP) その他()		

タ ー ゲ ッ ト	売 り 先	1)フードサービス 2)商社・卸 3)メーカー 4)小売 5)ホテル・宴会・レジャー 6)その他()
	お 客 様 (性別・年齢層など)	
利 用 シ ーン (利用方法・おすすめレシピ等)		
商 品 特 徴		

商品写真

商品特徴	一括表示
アレルギー表示(特定原材料) ※使用している項目に○ えび かに 小麦 そば 卵 乳 落花生	

■ 出展企業紹介

出展企業名			
年間売上高		従業員数	
代表者氏名			
メッセージ			写真
ホームページ			
会社所在地			
工場所在地			
担当者		E-mail	
T E L		F A X	

■ 製造工程等（農林水産品の場合は生産工程等）アピールポイント

工場写真(外観)	工場写真(内部)	工場写真(清掃状況)
----------	----------	------------

■ 品質管理情報

商品検査の有無	有・無（「有」の場合⇒検査項目：_____）		
衛生管理への取組	製造工程の管理		
	従業員の管理		
	施設設備と管理		
危機管理体制 【担当者連絡先／記録】			

平成 23 年度フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）
第 3 回 「企業力向上の場としてのマッチングフェア・商談会の活用促進研究会」

日時 平成 24 年 1 月 27 日（金）15:00-18:00
場所 中央合同庁舎 4 号館 1221 会議室
出席者 11 社 13 名様

<次第>

1. 開会挨拶
2. 本日の研究会の内容について
3. 「FCP 展示会・商談会シート作成のてびき」に関する意見交換
 - ・「各項目の補足説明シート」についての意見交換
 - ・「FCP 展示会・商談会シート」新・打ち込みシートの説明
4. 23 年度活動報告と次年度へ向けての取組・課題について
 - ・地域ランチでの活用事例報告と次年度への課題
 - ・展示会・商談会の場での活用事例報告と次年度への課題
5. 閉会挨拶
6. 事務局連絡

<概要>

冒頭、食品企業行動室室長の神井より、「FCP 展示会・商談会シート」（以下「商談会シート」という。）の活用が参加企業の皆様の協力で広まっていることを実感している。当研究会で作成した「FCP 展示会・商談会シート作成のてびき」が、わかりやすいという声を多くいただいている。地域ランチで多くの方が講師として参加いただいております、当研究会と地域ランチの活動に関する情報共有も行っていただきたい。更なる商談会シートの普及に向けた意見交換をお願いしたい」と挨拶を行った。

続いて、事務局より、本日の研究会の内容について説明を行い、以下の 2 つのテーマについて意見交換を行った。

(1) 「FCP 展示会・商談会シート作成のてびき」に関する意見交換

- ・「各項目の補足説明シート」についての意見交換
- ・「FCP 展示会・商談会シート」新・打ち込みシートの説明

前回（第 2 回）研究会にて「各項目別に細かな説明があると良い」との提案を受け、事務局で「FCP 展示会・商談会シート作成のてびき 項目別補足シート」を作成した。各項目の内容について、ご確認いただき、意見交換を行った。

また、パソコンに不慣れな方もいらっしゃるので、商談会シートを実際に作成する際に、選択肢から選択する形式や項目の説明が画面で案内されるなど、より入力しやすいフォーマットの案を事務局で作成しており、説明を行った。

「FCP 展示会・商談会シート作成のてびき 項目別補足シート」について意見交換の結果、てびきとセットで使うことでよりわかりやすくなるなど好意的な意見が多かったが、以下のようなご意見をいただいた。

- 「ターゲット」、「利用シーン」、「商品特徴」は、バイヤーが重要視しているポイントであるが、実際は書けていない事業者様も多い。てびきにも重要であると書いているが、更に念押しすることと、文例などを示すことが有効ではないか。
 - 「ターゲット」には、全部を選択する方もいる。全部を選択するのは良くないと明示してはどうか。「まず誰に食べて欲しいのか」ということを書いてくださいと書いてはどうか。過去の取引実績などを記載してもよいかと思う。
 - 「商品名」は、読みにくい、読めないものもある。読みにくい商品名には振り仮名が必要とアドバイスすべき。
 - 「最もおいしい時期」は、旬が難しい場合は生産量や販売量が多い時期なども書いてはどうか。また期間限定の商品は、それも記載すべき。
 - 「利用シーン」は、地域でのめずらしい食べ方を書いてもらってもよい。
 - 「商品特徴」は、なぜおいしいのか理由を書いてもらうとわかりやすい。
 - 「製造工程」は、てびきの例のレベルが高い。ハードルを下げる工夫をした方が良いのではないか。魚などの生鮮品で鮮度感をアピールする為に時間を入れるのも良い。
 - 「写真」は、商品写真以外に調理写真も載せるようにアドバイスを入れた方がよい。
 - 「衛生管理への取組」は過去のミスなどに対する対応が書かれていると好意的なイメージを持つ。
 - 「危機管理体制」の欄にPL保険の有無を書いても良いのではないか。
- いただいた意見をもとに再度検討し、研究会メンバーへ戻し確認することとした。

(2) 23年度活動報告と次年度へ向けての取組・課題について

・地域ランチでの活用事例報告と次年度への課題

まず9県で立ち上がっている地域ランチでの商談会シート活用報告を行った。その後各県で講師として協力いただいている方に感想を伺った。以下のような感想をいただいた。

- 商談会シートのレベルは高くなってきていると感じる。これからはそれをどう商談で伝えていくかが課題だと感じている。
- 講義では現場で起こっている事例を紹介しながら説明を行うことを意識している。ランチを通じて多くの事業者様とコミュニケーションができ、少しずつ自分のビジネスに繋がり成果が出ている。今後もFCPの理念であるWin Winの関係作りを進めていきたい。
- 商談会シートのレベルだけでなく、やる気も高くなってきていると感じる。ロールプレイをやってみると課題が見えて来やすいように感じる。ロールプレイでは今後もお手伝いさせて欲しい。
- 事業者様がどう考えているか勉強になることが多かった。講義では、消費者の気持ちになることが重要だと説明し、事業者様の強みを引き出すように意識している。
- 各企業のレベルの違いがあり、どのレベルに合わせて進めていくかが難しい。シートのお書き方だけでなく商品力についてどうアドバイスするかも課題。

・展示会・商談会での活用事例報告と次年度への課題

展示会・商談の場で実際に商談会シートを事業者様に勧められている商談会の主催者の方々に活用の事例報告とどのような課題を感じているかなど意見を伺った。以下のよう

な感想やご意見をいただいた。

- 商談自体の成約率が高くなっている。特に商談会シートをウェブ上で見えるようにしているが、ウェブ上での成約が増えているのは商談会シートの効果が大きいのと考えている。
- 商談会の事前説明会の場で、ロールプレイを行うなど各地域ランチで行っている取組を参考に考えてみたい。
- 商談会は、金融機関が融資先の販路開拓の場として行っているものも多い。地域ランチと地方銀行との連携も普及には効果があるのではないか。F C Pの取り組みは融資を増やすための検討にも使うことができる。金融庁が所管となるが省庁間での情報共有や取組強化をお願いしたい。
- 商談会シートを作成いただく事業者様が増えてきた。先日行った商談会では、ほとんどの企業が商談会シートを作成し利用していた。
- 商談会シートを活用し、バイヤーと出展事業者様の距離をより近くして行きたい。
- 商談会シートの使い方をきちんと伝えることも重要。
- 商談会出展者の事前研修会で、商談会シートの説明と商談会シートを使ったロールプレイをセットで行っている。セットで行うことで商談会シートの活用の仕方まで理解いただくことが出来、バイヤーより出展事業者様のレベルが高いと評価をいただいた。

<閉会挨拶>

最後に食品企業行動室室長の神井より、「今年度の当研究会は、商談会シートの普及を目的に活用状況を共有し、さらに使いやすくなるために様々な意見をいただき進めてきた。商談会シートを書き、気づきを得ることで企業力を強化するというステージから、それを使いどう伝えるかというステージに徐々に進んでいると感じる。商談会シートを書き、伝えるということは情報開示の重要性をわかってもらうことにも繋がると考えている。今後は成功事例を多く集め、それを共有していくことで更なる広がり期待したい。」と挨拶を行った。

最後に事務局連絡として3月2日の成果報告会の案内を行い閉会した。

<配布資料>

- 資料1 参加者名簿
- 資料2 「企業力向上の場としてのマッチングフェア・商談会の活用促進研究会概要」
- 資料3 「F C P展示会・商談会シート作成のてびき」
- 資料4 「F C P展示会・商談シート」作成のてびき 項目別補足シート」案
- 資料5 平成23年度 展示会・商談会における「F C P展示会・商談会シート」活用状況
- 資料6 平成23年度 地域ランチにおける「F C P展示会・商談会シート」活用状況